

甲斐市議会 総務常任委員会 会議録

1. 開催日時 令和7年10月17日

2. 招集場所 甲斐市役所委員会室A

出席委員（8名）

委員長	内藤久歳君	副委員長	若尾彰子君
	安倍健治君		保坂康君
	金丸幸司君		赤澤厚君
	小澤重則君		松井豊君

欠席委員（なし）

傍聴議員（3名）

議長	秋山照雄君		依田那津希君
	山坂賢太君		

説明のため出席した者の職氏名

市長公室長	丸山英資君	政策戦略課長	田中貴則君
政策推進係長	杉田博一君		

職務のために出席した者の職氏名

議会事務局長	中澤一昭	書記	小林久美
書記	深澤隼人		

審査内容

- 1 赤坂ソフトパーク内起業地市有財産活用事業の進捗状況について
- 2 その他

開会 午後 1時25分

○書記（小林久美君） ご参集お疲れさまです。

ただいまから総務常任委員会を開会いたします。

本日の委員会は、初めに委員長よりご挨拶をいただきまして、委員長の進行により進めてまいりますので、よろしく申し上げます。

次第の2、委員長挨拶、内藤委員長、よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） 改めまして、こんにちは。

ご参集、大変ご苦労さまでございます。

今日は本当にこの時期にふさわしい秋晴れとなりました。また、今日は案件が少ないわけですが、慎重審議をお願いいたします。

その後、また要望事項等、関係団体との意見交換会を決めるという委員会になっておりますので、委員各位のご協力をお願い申し上げまして、挨拶とさせていただきます。よろしく申し上げます。

○委員長（内藤久歳君） ただいまの出席委員は8名です。定足数に達しておりますので、これより総務常任委員会を開会いたします。

なお、本日の委員会は傍聴を許可しておりますので、ご承知おきください。

これより次第3、内容に入ります。

初めに、（1）赤坂ソフトパーク内起業地市有財産活用事業の進捗状況について、担当より説明をお願いいたします。

田中政策戦略課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） お疲れさまです。

政策戦略課から、内容（1）赤坂ソフトパーク内起業地市有財産活用事業の進捗状況についてご説明させていただきます。

委員会資料は3ページになります。

初めに、1、定期建物賃貸借契約の締結についてになります。

(1) としまして、本市と株式会社サンリオは令和7年10月10日金曜日に、土地を含めた建築物2棟につきまして定期建物賃貸借契約を締結いたしました。

(2) といたしまして、貸付期間は令和7年10月11日から令和27年10月10日までの20年間となります。

(3) 月額貸付料は不動産鑑定に基づきまして28万6,000円となります。

続きまして、2、A KAI KAWAII PROJECT推進コミッティの設立についてになります。

(1) 推進コミッティ設立の経過ですが、先月の定例市議会における補正予算審議の際にご報告しましたとおり、ミュージアムの開業に伴いまして本年9月2日付で甲斐市、株式会社サンリオ、株式会社辻信太郎記念館の3社は観光促進、地域活性化等を図ることを目的に包括連携協定を締結したところであります。

また、その際に包括連携協定に基づき、産学金などと連携する中、関係機関からご意見をいただきながら、地域活性化に資する事業展開を図るための体制構築として、コミッティいわゆるプロジェクトを設立して取組を推進してまいりたい旨、ご報告したところであります。

この包括連携協定に伴うコミッティが「A KAI (赤い) KAWAII (かわいい)」をキーワードとする地域活性化事業、A KAI KAWAII PROJECTの推進を図るため、民間事業者、教育機関等との綿密な連携体制を図るプロジェクトチームとしてのA KAI KAWAII PROJECT推進コミッティであります。

(2) の構成団体等ですが、包括連携協定の目的である地域活性化の向上に向けた効果的な取組の推進を図るため、産学金などの関係機関を含めた体制とするものであります。

A KAI KAWAII PROJECT組織体制図の上段、赤線の囲い、包括連携協定に基づく3社が核となりまして、下段にあります推進コミッティの構成は、株式会社辻信太郎記念館、事務局となる甲斐市、そして企画提案につきましては、青線の囲い内を協議団体として、左側から地域の専門学校であり、地方創生を担う人材の育成に関し、本市と包括連携協定を締結しておりますサンテクノカレッジ、ワイナリー連携による地域活性化に向けた包括連携協定を締結しているサントリー、事業の発展と地域活性化のための総合的な活動を行います甲斐市商工会、地域の公共交通の担い手となる鉄道事業者、バス、タクシー事業者であるJR東日本及び山梨交通、さらに地域の金融機関で地方創生に係る包括連携協定を締結している山梨中央銀行、計8つの団体等を構成員とし、幅広いご意見をお聞きしながら取組を推進してまい

りたいと考えております。

資料の4ページをお願いいたします。

(3) 今後の活動内容となります。

A KAI KAWAII PROJECT推進コミッティが主体となりまして、包括連携協定の目的の実現に向け、今年度、次の取組について検討していきたいと考えております。

まず1つ目として、地域ブランド向上につながる付加価値をつけた農産品等の試作、2つ目として、赤坂台を中心とする市内の地域活性化に向けた構想の提案、3つ目として、サクラまつりにおけるイベントの支援などを予定しております。

最後になりますが、ミュージアムのオープンの時期につきましては、まだサンリオ社から明確な日程は示されておりませんが、早期の開業に向け取り組まれております。

以上で、赤坂ソフトパーク内起業地市有財産活用事業の進捗状況についての説明を終わります。よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 説明が終わりました。

これより質疑を行います。

ここで、委員並びに職員各位に申し上げます。

質問は一問一答とし、また、質問、答弁は簡潔明瞭にさせていただきますようお願い申し上げます。

それでは、質疑等がありましたらお願いいたします。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 参考に聞きたいんですが、土地鑑定をした、あそこの土地の平米当たりの単価はどのくらいでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 田中課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） 松井委員のご質問につきましては、その不動産鑑定というのは、賃料に対する平米当たりの単価ということでよろしいでしょうか。

賃料の不動産鑑定に基づく平米単価は、土地の賃料は非常に単価が安いので、平米当たり17円程度になっています。賃料に対しての平米単価になります。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 今、一応推進コミッティの設立ということで、説明を受けたんだけど、具体的に、どういう形でこのサンリオを核にして絵を描いているのかということ。要するにサンリオ付近だけの観光をするのか、サントリーが入っているから、全体的にそれを通じて来たお客がサントリーさんとかほかにも回るように、結局そういう大きな甲斐市の中の全体の中の観光というのを目指しているのか、ということなのか。あそこの拠点だけで、ある程度出店を出してそこでやるのか、今どんなふうを描いているのか、基本的には、構想というか。

○委員長（内藤久歳君） 田中課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） 包括連携協定とか、いろんなその目的に関する事項につきましては、赤坂台エリアを中心として市内の観光促進、地域活性化ということを目指しております。ですので、赤澤委員がおっしゃるように、赤坂台エリアのみだけではなくて、市内全域に活性化を、もしくは観光促進、こういうものを図っていくという取組になります。

しかしながら、差し当たってサンリオ社がオープンするのが来年度、まだ時期は未定なんですけれども、オープンに伴いまして、取りあえず、まずは赤坂台エリアを中心とした基本構想を描きながら、このコミッティを使って、いろんな提案を受けながら事業を進めていくという形で考えております。

○委員長（内藤久歳君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 今、そのような説明は理解できるんだけど。

基本的に県外とか今はインバウンド、我々も去年かな、上野を歩いたら、結構インバウンド、外国人が結構来たりしていたんだよね。そういう人たちは、結局サンリオを目的に来ているんだよね。だからそこまで本当に、例えばサントリーとか、良いのは御岳昇仙峡とか、そういったものにうまく絡めればいいんだけど、なかなかそこに行くのは難しいと思うんだよね。

取りあえずあそこの近辺で、サンリオを中心に赤坂の中でその特産品とか、いろんな地域のそういった販売をしていく、商工会も絡んではいるんだけど、そういった地域の特産品みたいなものを販売する方法が、取りあえず差し当たって、それが一番いいような気がするんだけど、あまりいきなり広げても、なかなか難しいような気がするんだけど、その辺はどうなのかな。

○委員長（内藤久歳君） 田中課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） ご指摘のとおり、当面は赤坂台エリアを中心とした活性化を

まず考えていきたいと考えております。しかし、この波及効果を市内全域に広げていきたいという構想もございますので、その辺も含めながら考えていく必要があろうかと思っております。そういった面で、やはり交通連携というのは非常に大事になってきますので、JRさんですとか山梨交通さんも含めた中で、コミッティを進めていきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 当然、そういった赤坂を、私も中心にやるのが、最初は。徐々にいろんな面で甲斐市をPRするとか、それがいいと思うんだけど。それには、今の組織体制図を見ると、ほとんど地元の人なんだよね、業者もそうだけれども。

こういった事業を展開するには、ある程度プロというか、そういった組織、観光を目的にする組織というプロみたいなのところがあるんだよね、会社が、イベント会社みたいな。そういうところが入っていないんだけど、そういったところは今回こういうところには入らない、そういうアドバイスとか、そういうものをもらうあれがないんですか、どうなんですか。

○委員長（内藤久歳君） 丸山公室長。

○市長公室長（丸山英資君） まさしく、今回のサンリオ社につきましては、大阪万博をはじめ、世界で取り合いになっているキャラクター商品の一つであります。

我々がまず今できるのは、既存ストックの活用と考えておまして、先ほども農産品等とありますが、現実、今、甲斐市には赤いトマトがあるわけですね、その赤坂とまとをいかにブランディングしていくか、例えば今の状態だと、ある程度販路は決まっているんですが、そこに要するにキャラクター的なものが活用できれば、より効果が出るのかなということで、様々な作戦を練るんですが、これまでの行政主体の要するに企画開発ではなくて、今回は外部にこのプロジェクトチームのA KAI KAWAII PROJECTのコミッティを設置して、この中で企画をしてもらう、そのものは民間の固まりなので我々も入りますが、民間でできるもの、逆に我々甲斐市に、こんなことしたらいかがですかという提案を受けながら、その実行段階において、例えば商工業的なものであればそのコンサル、またイベントになればイベントコンサルという形で、各方面でそういうコンサルティングを行いながら、今後は展開を図っていかねばいけないのかなと。

まずは来年度の早期の開業を目指す中で、まずはPRしなきゃいけないのが甲斐市に新たにミュージアムができて、開業をするというのは、できればここにイベントとありますが、

昨年度のサクラまつりでキャラクターショーをやって大分好評でした。

より冠をつけて開業記念ということで、サンリオ社とペアを組んでサクラまつりを相乗効果が出るような、プレオープン的なイベントができればいいかなということも検討しておりますし、やはり甲斐市に来たときに、そこまでの行く足がないとか、そういうものは我々が公共交通で考えるのではなくて、やはり甲斐市にはJR中央線、中央道という竜王駅や甲府駅、サービスエリアがありますので、そこは民間のパワーでお願いしようかなという形で、個々に民間企業から提案を受けて、赤澤委員がおっしゃるとおり、各分野で今度はプロのコンサルタントを入れながら対応していくことを考えておりますので、ぜひ引き続き市議会の皆さんにも、お知恵を拝借しながら、サンリオ社をうまく使って、甲斐市の新たな観光振興や地域の活性化を目指していきたいと思っておりますので、ぜひご協力をお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 今、部長が言ったとおり、本当に前向きな答弁してもらったんだけど、やっぱりそうだと思うんだよね、基本的に。やっぱり行政の考えることはすばらしいと思うんだけど、やっぱり限られているんだよ、本当に。そういった専門的な、そういった業者、ノウハウはね。それで景観、赤坂というのは、結構、我々が見るのとまた違う、県外から来るとあそこ見て、こんなすごいですね、景観も富士山が目の前で、甲府盆地を見下ろして、我々には分からない魅力を、あの人達は分かるんだよ、来た人は。自分たちはいつも住んでいるから、その魅力が分からないんだよ。だから、そういったものを発揮するというか、その赤坂の良さをPRするというのは、そういった会社、専門的なところを入れて、そういったノウハウを入れた中でやっていくということが必要だと思うんだよね、基本的に。

ぜひ、その辺をそういった、今部長も前向きな答弁してもらったんで、そういったものの力を借りながら、いろんな面で、行政ばかりじゃなくて、地域も当然そうだし、そういった専門的なプロジェクト会社みたいな、そういったものを取り入れながらやってもらえればありがたい。

もう一点。

結局あそこが来て、例えば将来的にサントリー、今の御岳昇仙峡、これは日本遺産なんだよね、日本文化遺産。そういったものを絡めるとなると、宿泊というのが当然絡んでくるんだよね。宿泊というのが。今結局、甲斐市の宿泊できるのは、ホテル神の湯さんがあるんだけど、主だったホテルというのが今はない、基本的に。

やっぱり、将来的にはそういったものを絡めた中で、市としてもそういったものを誘致す

る土地というか、そういったものもある程度考える必要があると思うんだけども、ある程度土地を用意しないと業者なんか来ない。ある程度土地を用意して、確保して、そういったものにホテル、今いろんな、幾つもあるじゃんホテル、名前は出せないけれども。そういったところに、来て、あそこに宿泊してもらおうという選択肢もあると思うんだけども、その辺のことは考えているのか、それはどうなんですか。

○委員長（内藤久歳君） 丸山室長。

○市長公室長（丸山英資君） 我々といたしましては、まず甲斐市の都市計画マスタープランに基づいて、各地域の用途等を定めた中で推進するわけですが、これまでの計画になかった赤坂台地について、株式会社サンリオ社が辻信太郎記念館の設立に伴いまして、新たに見直しをしていかなきゃいけないのかなということは我々も感じております。

我々は、一サンリオ社に力を注ぐのではなく、サンリオ社を活用しながら地元の企業をはじめ、体力をつけてもらうような形が理想だと思っていまして、今のホテルにつきましても、必然的に誘客数が増えれば、実際、ホテル企業の方も設立してくれるのかなということがございますので、まずは我々はサンリオ社を活用しながら、甲斐市の魅力を発信していく中で、多方面の企業を誘致するべきと考えておりますが、いずれにしましても、まずは今回、辻信太郎記念館をしっかりと開業させる中で、甲斐市だけではなくて、関係企業の方々が力を注いで、まずは甲斐市に集中してもらって、その中で我々が新たにまちづくりの関係というのは、庁内横断的な取り組みで検討していかなきゃいけないと思っておりますので、先ほどと同様に、ぜひ議会からもご意見を伺いながら、新たなまちづくりの展開は進めていくべきだと思います。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） ぜひ、その方向で、これは契約20年という契約になって、期間が。相当の長い期間だけれども、本当にその中でかなりいろんな事業もできるし、結局その甲斐市の一つの目玉になる可能性があるね、これは。これを核にして、甲斐市の。そういったものを目指して、宿泊施設にしても何にしても、そういったものも、今年、今じゃなくてもいいから、そういったものをにらんだ中の計画というのが、ある程度頭に置いた中で進めていくことが必要だと思うんだよね。ぜひその辺を頑張ってもらえれば、我々も協力していきたいと思っておりますので、ぜひよろしくお願ひしたいと思ひます。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにありますか。

松井委員。

○委員（松井 豊君） どんな施設が出るのかということが、まだよく見えてなくて、イメージが湧かないんですが、その辺はどうなんでしょうか。

○委員長（内藤久歳君） 田中課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） 我々のほうも今の建築確認を出しているという状況は把握しているんですけども、あくまで建築確認上の話なんで、建築確認の中には、中がどういうイメージになっているかというのは、まだ出ていないので、我々も詳細なところは把握ができていないという状況ではあります、分かり次第、当然議会のほうにもお示ししながら進めていきたいと思っておりますので、よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 丸山室長。

○市長公室長（丸山英資君） 今回、ミュージアムの誘致に伴いまして、甲斐市の公民連携推進デスクに、サンリオ社から一緒に事業提案をやらないかということで提案をいただいております。

その中で向こうが示してきたのが、やはり辻信太郎、今の現名誉会長は山梨県からの出身のサンリオの創設者ということで、そのサンリオの原点のこれまでのキャラクターのグッズとか、そういうものを展示するミュージアム、それと山梨出身の創業者ということで、今名前が出ました辻信太郎記念館という形なので、辻さんの生い立ちとかサンリオまでの歴史的なものは、表現をしていきたいなということは伺っております。

あわせて、敷地内については市民の方々が集えるような、要するにみんなが集えるようなポケットパーク的な公園もできればいいですねという話ですので、おおむね、その形で詳細が決まっていくと思っておりますので、サンリオ社の公表がございましたら、議会のほうにも情報提供していきますので、よろしく願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。

ほかにございますか。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 1点、すみません。

この中で3ページのほうに、ライセンス契約に基づくというのがあるんですけども、これは、何かサンリオさんのキティちゃんのグッズを扱ったり、それを使ったり使用するかというのは、当然ライセンス料金みたいなのが発生すると思うんですけども、その辺はど

うなっているのか。

○委員長（内藤久歳君） 田中課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） 包括連携協定を締結する、イコールキャラクターを使っているということではありませんので、ライセンス契約です、キャラクター1つにつき、ライセンス契約が必要だということは聞いておりますので、その辺のライセンス契約を今後どのようにしていくかというのも考えていかなければならない、当然そちらには費用もかかりますので、また議会のほうにもお示ししながら取り組んでいきたいと思えます。

○委員長（内藤久歳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 分かりました。

4ページのところに、地域ブランドの付加価値をつけた農産品等の試作というのは、新しく何かアイデアつくってやっていくと思うんですけども、これに対して試験的に何かつくっていく場合には、市からも何か開発費用というんですか、そういうのを考えているのか、教えてください。

○委員長（内藤久歳君） 田中課長。

○政策戦略課長（田中貴則君） 今現在、考えているのは、果物に例えば、やはたいぬのステッカーを貼って、それを焼きつけて、それを収穫する、それはあくまで試作として、甲斐市のプロモーション的にそちらを、例えば都内へ行ってプロモーションするとか、市内でプロモーションするとか、そんなようなイメージで、今現在は考えているという状況であります。

○委員長（内藤久歳君） ほかにございますか、よろしいですか。

[発言する者なし]

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、以上で審査を終了いたします。

以上で、赤坂ソフトパーク内起業地市有財産活用事業の進捗状況についてを終わります。
ここで職員の退席のため、暫時休憩いたします。

休憩 午後 1時50分

再開 午後 1時51分

○委員長（内藤久歳君） 会議を再開します。

次に、次第4、その他を行います。

初めに、（１）令和８年度当初予算への要望についてを行います。

令和８年度当初予算への要望については、各常任委員会で協議を行い、１事業を決算審査特別委員会へ提出することとなっております。

事前に４名の委員から要望事項の提出がありましたので、内容の協議を行い、本常任委員会からの要望事項を決めたいと思いますが、よろしいでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

それでは、そのようにいたします。

それでは、順次、委員からの説明を受け、質疑や協議を行った後に、改めて、どの提案を推薦するか、各委員のご意見を伺いたいと思います。

初めに、若尾副委員長、説明をお願いいたします。

若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） 私からは、２款総務費、１項総務管理費、１目一般管理費、人事管理事業及び職員福利厚生事業について予算要望いたします。

内容といたしましては、本市においては令和６年度に普通退職者が１８人に上り、総時間外勤務時間は５万５,０００時間から５万８,０００時間に達しました。これは労働基準法が定める正規職員２６人から２８人分の労働時間に相当します。保育士や放課後児童支援員の募集は定員を下回りました。このままでは住民ニーズの複雑化、多様化する行政需要に十分対応できなくなるのではないかと危機感を抱いております。

とりわけ専門職の確保は急務です。保育、福祉、教育、防災、ＩＣＴなど、幅広い分野において高度な専門性を有する人材が求められております。これらの職種は市民生活に直結し、安心安全の確保や質の高いサービス提供に欠かせない存在です。しかし、専門職は他自治体や民間でも需要が高く、人材確保競争は激化しております。本市においても採用条件や処遇の改善、キャリア形成の支援などにより専門人材をはじめ、求職者に選ばれる自治体となることが不可欠です。

そのため長時間労働の是正や柔軟な勤務体制の整備に加え、職員の資格取得支援や研修体制の充実を図り、専門性を高めながら安心して働き続けられる環境を整えることが重要です。また、勤務継続を支えるため、メンタルヘルスを含む健康支援体制の強化も必要だと考えます。

市民サービスの質を維持向上させ、持続可能な行政運営を実現するため、令和８年度当初予算において、専門職をはじめとする職員数の確保と働きやすい環境づくりに向けた抜本的

な対策を強く要望いたします。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、安倍委員、説明をお願いいたします。

安倍委員。

○委員（安倍健治君） 令和8年度当初予算への要望書で、9款1項5目の僕は防災対策整備事業の非常用備蓄食品などの事業内容で要望したいと思います。

いつ発生してもおかしくない大規模な地震などの災害、非常時の食料や生活用品は命をつなぐためにとても重要なものだと考えられます。災害の規模によっては、被災者の数や物資が届くまでの期間など、想定より大幅に上回ることも考えられます。

以上のことを踏まえ、この事業のさらなる予算の充実を望みます。よろしくをお願いします。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、松井委員をお願いいたします。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 私のほうは、大規模地震への対応の強化ということで、東南海地震の発生が今うわさになっていますけれども、年々その確率は高まっているということで、もう一つは、地震が昼間来るとは限らないわけです。半分は夜ですから、夜中に地震が起きないとも限らない、そのときの対応が十分できるのかということ、現在の休日の朝の訓練だけでいいのかということが常々疑問には思っていました。ただ、真夜中に訓練するわけにはいきませんので、早朝とか夕方の訓練、多少暗いうちからやるとか、暗くなるころやるとか、そういう方法もあるのではないかと、また各自治会の取組を見ますと、独居老人、高齢の独居老人、それから障がい者への連絡支援体制、これが必ずしも十分ではないと思いますので、予算にはそんなに関わる問題ではありませんけれども、それなりの手続や準備が必要かなということを提案します。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

最後に私のほうから提案をさせていただきます。

2款総務費、1項総務管理費、情報管理費ということで、情報管理推進事業ということで、ここに掲げておきました。これについては、所管が幅広くまたがっていますので、事業としてはいかがかなという部分もあったんですけど、これは全体的なIT化、デジタル化ということを考えると、こういった部分において予算を投入して、他の自治体より先進的な取組の中で、市民サービスの向上が図れるような財政投入すべきではないかという意味で、こ

ここに掲げておきましたので、ご検討をお願いしたいと思います。

提案は、以上であります。

要望内容についての質疑等がありましたら、お願いいたします。

質疑はございますか。

〔発言する者なし〕

ないようですので、提案者の説明や質疑などを踏まえ、総務常任委員会としての令和8年度当初予算への要望は、どの提案を推薦するか、各委員の意見を順次確認したいと思います。

初めに、若尾副委員長お願いいたします。

若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） これは自分のを挙げて大丈夫でしょうか。

では、私は自分の挙げました人事に関する要望を推薦します。

○委員長（内藤久歳君） 休憩します。

休憩 午後 1時59分

再開 午後 1時59分

○委員長（内藤久歳君） 再開します。

次に、安倍委員お願いします。

安倍委員。

○委員（安倍健治君） 僕は、防災の自分で書いたあれなんですけれども、やっぱり直接市民の生活に直結する問題かなというのがありました。実はもう一つ、僕は本当は考えていたのがあって、それは委員長と同じこの甲斐スマートプロモーションの事業で、これはこれからデジタル化を進めるに当たって、結構予算もかかってくると思うんです。充実させるには、まだ始まったばかりの事業なんで、その業者のほうも結構言い値じゃないですけども、高いあれを要求してくる可能性もあるので、この甲斐スマートプロモーション事業も、僕も本当はいいかなんていうのはあります。ちょっと今悩んでいるところです。すみません。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員お願いします。

保坂委員。

○委員（保坂 康君） 僕も、委員長のSMART甲斐プロモーション事業ということで、今

安倍議員も言われたように、これからまだまだ、この分野がもっともっと進んでいくということで、いろいろな面でまだまだお金がかかる、我々もそうですけれども、市民の方もそうですけれども、まだまだ活用を全体的にできていないというふうな傾向があると思うんですよ。それを市を中心となって、甲斐市として盛り上げていきながら、市民の方がよりよい生活ができるような、そういうプロジェクトにしていっていただきたいという思いでありますので、この事業に予算を追加していただきたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、金丸委員をお願いします。

○委員（金丸幸司君） 私も個人的にはSMART甲斐プロモーション事業です。

私も、かつて自治体のデジタル化はもちろんです。自治体だけでなく自治会の、要するにデジタル化ということも私も推進していて、しっかりそういった、以前甲斐市でもデジタルに慣れ親しんでいただけるようになっていうことを言ったんですけれども、なかなか市民の間でも、デジタルに不慣れなこともあったりするんですね。自治会にもしっかりデジタルを普及していく上でも、今後大変期待しているところにもあるんで、SMART甲斐プロモーション事業に進めていっていただけたらなと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、赤澤委員をお願いします。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 私も今、金丸委員が言った同じ考えなんですけれどもね。将来的に考えていけば、こういったプロジェクトチームというのは、どんどん必要だと。ただ今言った様に幅が広すぎて、予算的なものはなかなか難しいかもしれないけれども、予算というよりも、この事業を推進していくという形を要望、委員会としてね、予算云々というとなかなか大変なので、この事業に対して、議会としても推進してもらいたい、我々も当然バックアップをしていくというような形のほうでやればいいのか。あまりにも広過ぎちゃって、予算的な問題が、多いんで。ただこういったプロジェクトチームというのは、事業というのは幅広くかかっているんで、そういった要望の形でやるのも一つの案かなと思っています。

以上です。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、小澤委員をお願いします。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） 私も赤澤委員、保坂委員が言われたように、また金丸委員が言われたように、デジタル化というものは必要だと思いますんで、また、ただ当初予算への要望という形になりますんで、うまくまとめていただいて、発表していただければいいかな。

若尾委員の人事のほうも、これ大量にある程度退職した人が前年度いたもんで、それかなり承知していると思いますんで、それはそれなりの手立てを打つんじゃないかと思います。また安倍委員の防災計画は防災計画の変更等がありましたんで、大分備蓄品も市としても増やしている傾向にあると思いますんで、特に要望しなくても増えていくんじゃないかなというように考えております。そんなことでデジタルのほうでいいという旨、賛成したいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

松井委員をお願いします。

○委員（松井 豊君） 自分の上げた防災のほう、特に防災訓練がちょっとマンネリ化している部分もありますので、そういう細かいところへの気遣いとか時間的な、予算はそんなに伴いませんが、お願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

ここで暫時休憩をいたします。

休憩 午後 2時04分

再開 午後 2時05分

○委員長（内藤久歳君） 会議を再開します。

意見の集約をしたいと思います。

委員各位から、それぞれの提案に対してご意見をいただきまして、その中で手前みそで申し訳ないんですけども、私のDXの推進というふうな関連の要望の意見が多いようですので、いかがでしょうか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） 本委員会からの要望事項は、DXの推進についてということでご異議はありませんか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、そのように決定いたします。

なお、提出する文面は、提案者の私と副委員長に、ご一任を願いをいたします。

以上で、令和8年度当初予算への要望についてを終了いたします。

次に、（2）各種団体との意見交換会についてを行います。

意見交換につきましては、視察研修と隔年で行うこととなっておりますので、今年度は意見交換を行いたいと思います。

なお、第3回定例会の委員会の中での通知に、相手方、テーマについて検討をお願いしてありますので、各委員の意見を求め、決定をしたいと思います。

それでは、若尾副委員長からお願いいたします。

若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） 私が提案したい意見交換の団体は、DWA T、緊急時災害福祉派遣チームというものがありまして、災害時に被災地に赴きまして、DMATというのは、災害派遣医療チームとあって有名なんですけれども、今回は福祉の分野でして、社会福祉士ですとか、精神福祉士、保健師や看護師、保育士など、直接、福祉、高齢者や子供たちの避難生活、復興に向けて支援をしていくチームがありまして、そういったチームと今後甲斐市の災害対応について、いわゆる災害弱者と呼ばれる方たちへの対応を考えるために、その団体との意見交換を希望します。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、安倍委員お願いいたします。

安倍委員。

○委員（安倍健治君） 僕のほうは、やっぱり、一番甲斐市防災会議とかのほうがいいかなと思ひまして、過去の意見交換会のを見ていると、大体防災だと消防関係が多いんで、全体的な防災とかに関しての意見交換を望みます。よろしくをお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 次に、保坂委員をお願いします。

保坂委員。

○委員（保坂 康君） 私は、情報公開・個人情報保護審査会というところで、今の個人情報、いろいろと、ブログ上げたり、SNS上げたりとか、いろいろな形で議員のほうも活動を、個人活動をしていると思うんですけども、そういうふうなものをどこまでやっていいのかとか、その辺の審査とか、そういうふうなものを聞きたいかなということで、情報公開・個人情報保護審査会ということでお願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 次に、金丸委員をお願いします。

金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 私も先ほど言った安倍委員と同じように、防災の関係でよろしくお願
いします。

○委員長（内藤久歳君） 次に、赤澤委員をお願いします。

赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 私は、選挙管理委員会をお願いしたいと思います。

なぜかという、我々の特別委員会の主権者教育、その投票率、選挙に関しての関心とい
うことで取りかかっている事業があります。その関係の中で、今後の我々だけではなかなか
その投票率も選挙管理委員会からも、お互いその意見交換しながらどんなふうな感じで投
票率を上げるのか、ある程度市民に選挙の意識を高めることが必要だと思うんで、選挙管理
委員会と話をして、まだ話をした記憶がないんですよ、今まで、基本的に。我々も主権者教
育に取り組んでいる中であるがゆえに、選挙管理委員会の人たちと意見交換しながら、今後
の甲斐市の選挙体制について考えることも必要じゃないかなと思って、私は選挙管理委員会
を推薦したいと思います。

○委員長（内藤久歳君） 次に、小澤委員をお願いします。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） 今、お題をもらって、私特にどの委員会というものがなかったんです
が。今聞かせていただいて、選挙管理委員会の話を聞いてみたいなという気がしまして、そ
こがいいかなと思っております。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

最後に、松井委員をお願いします。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 先ほど、防災の問題を出しましたんで、やはり防災の充実というのは
必要なんで、防災委員のほうを。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

各委員より、団体とテーマが出ましたが、内容等につきまして、委員より質疑等がありま
したら、お願いいたします。

質疑はございませんか。

〔発言する者なし〕

○委員長（内藤久歳君） それでは、どの団体にするか、各委員の意見を求めたいと思います。

若尾副委員長。

○委員（若尾彰子君） 防災委員と意見交換を直接したいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。

次に、安倍委員。

安倍委員。

○委員（安倍健治君） 僕はさっき甲斐市防災会議と言ったんですけども、防災関係の交換会を望みます。

○委員長（内藤久歳君） 保坂委員。

○委員（保坂 康君） 私は、選挙管理委員会をお願いいたします。

○委員長（内藤久歳君） 金丸委員。

○委員（金丸幸司君） 先ほど言ったように、防災委員でお願いします。

○委員長（内藤久歳君） 赤澤委員。

○委員（赤澤 厚君） 選挙管理委員会です。今防災委員という話が出ただけですけども、135人いるんですよね、組織が。それをどうやって集めて、どうやって感じてやるのか、結構難しい問題があるんじゃないかと思うんで、やっぱり、ある程度限られた人数の中でまとめていかないとなかなか集約できない。どんなふうな考えというのがなかなかできないんで、ある程度集約した中の人数でやるということでは、僕は選挙管理委員会かなと思っています。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございました。

小澤委員お願いします。

小澤委員。

○委員（小澤重則君） 私も選挙管理委員会。選挙も近いことですので、そのほうがいいと思います。また今防災委員と言いましたが、これ各區で推薦された委員が一人ずつ出てやる会議でございますので、特に話し合うことがあるのであれば、防災会議のほうがいろいろなことを決めて、防災に対してどういうふうにするんだというのは決めている機関でございますので、のほうが妥当じゃないかなという気がするんですが。僕はいずれにせよ選挙管理委員会ということでお願いしたいと思います。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございました。

松井委員お願いします。

松井委員。

○委員（松井 豊君） 僕は防災の関係で、防災委員、大分人数はいますけれども、ピックアップしてやるとか、方法はあると思いますんで。

○委員長（内藤久歳君） ありがとうございます。
暫時休憩します。

休憩 午後 2時14分

再開 午後 2時24分

○委員長（内藤久歳君） 会議を再開します。

ただいま、皆さんからご意見いただきました。

その中で、防災委員については、そこのお手元に条例とメンバーを見たときに、その人たちに来て、ここで意見交換をするそのメンバーとしては非常にいいと言えればいい部分もあるかもしれませんが、実情に即したその意見交換会にはちょっと当てはまらないかなという気がします。

そこで、防災に関わる今意見が4人いたので、そういったことに変更をして、防災リーダーとの意見交換会ということで、防災危機管理アドバイザーというのが甲斐市にいて、そういう方が防災に関する専門的な知識を持っているし、かなり幅広い知識を持ってる方なので、その方に来ていただいてやるということで、また2案としてもし日程の調整がつかなければ、さっき言った選挙管理委員会にお願いをするというような、本来ならここで決定しておきたいんですけども、一応委員の意見が防災に関する意見が4人ということと、選挙管理委員会が3人ということで、4名のほうを優先したいということの中で、そんな形で進めたいと思いますが、いかがですか。

〔「異議なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） よろしいですか。じゃ、そんな形で進めさせていただきます。

日程の調整については、私と事務局に一任願います。

以上で、各種団体との意見交換についてを終わります。

次に委員より、常任委員会関係で、その他ありましたらお願いいたします。

〔「なし」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） ないようですので、事務局、何かありましたらお願いします。

〔「ありません」と呼ぶ者あり〕

○委員長（内藤久歳君） よろしければ、その他を終了いたします。

以上をもちまして、本日の日程は全て終了いたしました。

これもちまして、総務常任委員会を閉会をいたします。

ご苦労さまでした。

閉会 午後 2時27分